

# 絆 ~Kizuna~

## みんな違ってみんないい!

道徳の時間に、夢かぼちゃんから2人の講師の方に来ていただき、障害がある人への関わり方や考え方についての話を聞きました。2つの体験活動を通し、障害を乗り越える大変さや、相手を理解しようとする大切さを学びました。だれもが様々な人がいることを理解して、心のバリアがフリーな社会になるといいですね。

### 【感想より】

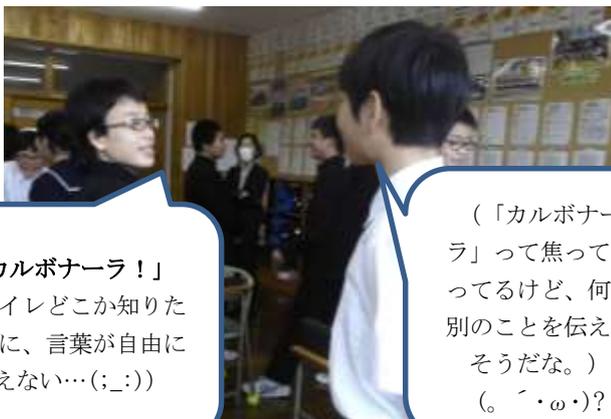
今日様々な体験をしてみてジェスチャーなしで違う言葉を言ってもよくわからなかったり、伝わりにくかったりということがわかりました。これからは、障害をもつ人との接し方を変えつつ、相手のことを知ることが大切だと思いました。

誰か1人でも優しく接することによってその人も安心して周りの人も自然と助けを手伝ってくれるかもしれないので、誰にでも優しく接した



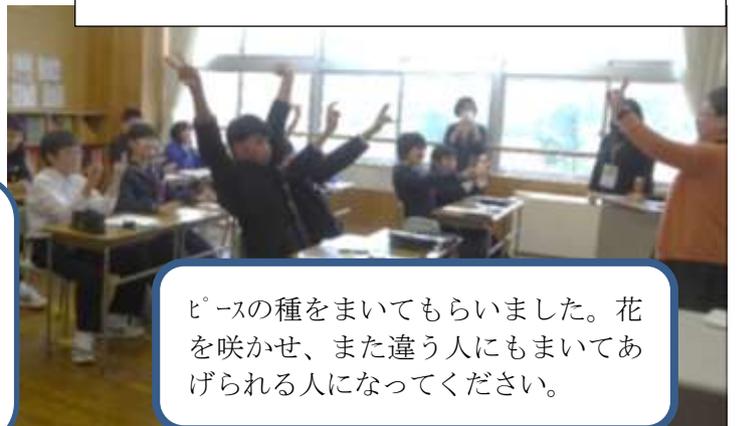
不自由な手と自由な手が支えあっています。

私は障がい者について前まであたたかく見守ってはいたけれど、心のどこかで差別をしてしまっていました。実際にそのような場面に出会い、優しくはしていたけれど、迷惑とも思っていたりもしました。でも今回の話を聞いて改めて自分を見つめ直そうと思いました。なので、これからは差別をせず、優しく接することや、みんな違ってみんないいという言葉を実践して行動したり、発言したりしたいと思います。



「カルボナーラ！」  
(トイレどこか知りたいのに、言葉が自由に使えない…(;\_))

(「カルボナーラ」って焦って言うてるけど、何か別のことを伝えたそうだな。)  
(。・ω・)?



ピースの種をまいてもらいました。花を咲かせ、また違う人にもまいてあげられる人になってください。

医師 松永 正剛 (千葉県 58)  
「しょうがい者」という言葉は、呼ばれた人が嫌だろから言い換えよう、と提案した心優しい9歳の君(1月29日)。大人の私から返事をさせて下さい。まず、「しょうがい」として何だろう?  
私は仕事で、たくさんの方を見学してきました。この子たちは、他人より劣った部分があるからそう呼ばれているのでしょうか?いえ、違います。この子たちと社会との間に壁、つまり障害があるから、障害児と呼ばれているんだ。  
つまり、障害は人ではなく社会に対する言葉です。車いすが越えられない段差とか、点字ブロックの上で置かれた物が障害なんだ。  
そしてその壁は私たちの心の中にもあります。そんな壁をすべて取り除いたとき、「しょうがい者」ということばは要らなくなる、とせんせん違う言葉になるかもしれません。そういう社会になってほしいですね。

『「しょうがい」の正体を知ってね』  
新聞記事より